
Ⅰ 建学の精神・3ポリシー

1. 建学の精神

建学の精神

健康科学大学は、今後ますます高度化・多様化する我が国の医療・保健・福祉の分野で、国民のニーズに的確に対応しうる人材の育成を目的としている。

これらの分野のうち、本学は、特に理学療法・作業療法・福祉心理・看護の専門職の育成を基本とし、豊かな人間性と高い倫理性に立脚した高度な専門性を備え、他の専門領域についても横断的・融合的に理解・研究・実践しうる人材の育成を目指している。

また、本学は、これからの福祉社会の発展に寄与するために、様々な複合的問題に立ち向かうことができる問題解決能力を備えた人材の育成を目指している。

こうした建学の精神・基本理念を要約すると、「豊かな人間力」、「専門的な知識・技術力」、「開かれた共創力」の三つを兼ね備えた人材を育成することが本学の使命であると言える。

豊かな人間力

生命に対する深い理解や、他者と共感し交流できる感性を育て、共生の思想に基づく強い倫理観と使命感を備えた人材を育成する。

専門的な知識・技術力

理学療法・作業療法・福祉心理・看護に関する幅広い知識と先端の専門技術を身につけたプロフェッショナルな人材を育成する。

開かれた共創力

地域社会と連携して人々の健康増進に努め、他の専門職と協同して新時代の医療・福祉を切り拓く、創意に富んだ人材を育成する。

2. 3ポリシー

健康科学大学3ポリシー

健康科学大学は、建学の精神に基づき、「豊かな人間力」「専門的な知識・技術力」「開かれた共創力」の三つの力を兼ね備えた人材を育成して社会に送り出すため、次のような三つのポリシーを掲げています。

【ディプロマポリシー（学位授与方針）】

健康科学大学では、関連領域の専門家や地域社会と共に新たな価値を創造し、地域の医療・保健・福祉・産業に貢献できる優れた人材を社会に送り出すため、次のような資質と能力を備えた学生に学位を授与します。

- （1）生命に対する深い理解力、人権を尊重する高い倫理性、他者を思いやる豊かな人間性を身につけている。
- （2）専門的な知識・技術力とそれを活かすための幅広い教養を身につけている。
- （3）QOL（Quality of Life）の重要性と多様性を理解し、全人的な視点から支援することができる。
- （4）関連職種と協働しチームの一員として役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。
- （5）様々な課題に対応できる社会人としての基礎力を身につけている。
- （6）社会の変化や技術の進展に対応でき、自己研さんする力を身につけている。

【カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）】

健康科学大学では、幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理性に立脚して専門的な知識と技術を修得するため、次のような方針に基づいてカリキュラムを編成しています。

- （1）本学の教育理念と目標を実現するため、多彩な科目を開講します。
- （2）修学に必要な知識と能力を確実に身につけるため、初年次教育に力を入れます。
- （3）幅広い教養を身につけるため、「総合基礎科目領域*1」を充実させます。
- （4）関連職種と連携し、自分を客観的にとらえる力を身につけるため、「専門基礎科目群*2」を充実させます。
- （5）専門的な知識と技術力を確実にかつ幅広く身につけるため、「専門科目群*3」を充実させます。
- （6）主体的に学ぶ力を養うため、全学年で少人数編成による演習科目を設けます。

※2021年度以前に本学看護学部看護学科に入学した学生の※1～※3の科目区分の表記は次のとおり。

※1…基本教育科目 ※2…専門教育関連科目 ※3…専門教育科目

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

健康科学大学では、豊かな福祉社会を支える医療・保健・福祉・心理の専門職、また広く地域社会に貢献できる人材を育成するため、次のような資質を備えた入学者を求めています。

- （1）本学の建学の精神と教育目標を理解し受け入れることのできる人
- （2）本学で学ぶために必要な基礎学力を身につけている人
- （3）向学心に富み、自ら考え、行動する意欲がある人
- （4）他者との関係性を尊重しながら学ぶ意欲のある人

リハビリテーション学科3ポリシー

【ディプロマポリシー（学位授与方針）】

- （1）リハビリテーション対象者とその家族に対し、それぞれの尊厳を高められるような倫理観・態度を身につけている。
- （2）理学療法学・作業療法学を基本としたリハビリテーション科学についての専門的な知識・技術とそれを生かすための幅広い教養を身につけている。
- （3）一人ひとりの多様性を理解するとともに、日常生活の課題を解決するため、専門家として全人的な立場から支援することができる。
- （4）チーム医療に必要となる、他職種の専門性についての知識やコミュニケーション能力を身につけている。
- （5）社会の変化や医療技術の進展に対応でき、自己研さんする力を身につけている。
- （6）専門分野に限らず様々な課題に対応できる社会人としての基礎力を身につけている。

【カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）】

- （1）理学療法学・作業療法学を基本としたリハビリテーションに関する知識および技術を修得するため、初年次から専門科目領域の科目を順次配置します。
- （2）豊かな教養や他者と協働して問題解決を実践できる能力を養成するため「総合基礎科目群」を配置します。
- （3）リハビリテーションに必要な医学的な基礎知識とコミュニケーション能力の修得のため、「専門基礎科目群」を配置します。
- （4）科学的な根拠に基づいた評価や治療プログラムを構築し、臨床実習において活用・応用ができるように、「評価学」、「治療学」、「臨床実習」を順次配置します。
- （5）専門職として生涯にわたって学習を行うための基礎となる創造的思考力や自己研鑽力を身につけるため、「研究法」や「卒業研究」を配置します。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

- （1）リハビリテーションに関心があり、専門的な知識や技術の修得を目指す人
- （2）未知の分野への探究心に富み、主体的に学ぶ意欲のある人
- （3）医療を通じて地域社会に貢献する情熱のある人
- （4）他者を尊重し、協調して行動できる人

理学療法学科3ポリシー**【ディプロマポリシー（学位授与方針）】**

- （１）高い倫理観と責任感、患者に対する思いやりと奉仕の精神を身につけている。
- （２）根拠に基づいた医療の実践に必要な論理的思考力を修得している。
- （３）理学療法士に必要な知識と技能を修得している。
- （４）チーム医療に必要なコミュニケーション能力と協調性を身につけている。
- （５）自ら問題を提起し、解決する力を身につけている。
- （６）広い視野と未知への探求心を身につけている。

【カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）】

- （１）理学療法士に必要な知識と技能を養うため、初年次から専門科目領域の科目を順次配置します。
- （２）幅広い教養・視野、倫理観、思いやりと奉仕の精神を養うため、総合基礎科目領域を充実させます。
- （３）チーム医療に必要なコミュニケーション能力、協調性、柔軟性を養うため、総合基礎科目領域と専門科目領域の連携に力を入れ、グループ学修の機会を多く設けます。
- （４）自ら問題を見出して解決する力、論理的思考力を養うため、少人数編成の演習・実習形式の科目を多く設けます。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

- （１）理学療法に関心があり、知識や技能の修得を目指す人
- （２）自ら学ぶ意欲のある人
- （３）医療を通じて社会に貢献する情熱のある人
- （４）他者の心を思いやることができる人

作業療法学科3ポリシー

【ディプロマポリシー（学位授与方針）】

- （1）生命と人権の尊重を基本とした、豊かな人間性と高い倫理性を身につけている。
- （2）幅広い教養と作業療法学の基本的知識と技能を身につけている。
- （3）関係職種と連携できる実践能力を身につけている。

【カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）】

- （1）リハビリテーションの専門職としてふさわしい豊かな人間性、専門的知識・技術力、関係職種と連携するための協調的実践力を培うための科目を配当します。
- （2）初年時には科学的思考力、多様な価値観の受容力、深く人間について理解する共通科目を中心とした科目を配当します。
- （3）2年次には、科学的根拠に基づいた作業療法技術を実践する上で理論的基礎となる専門基礎科目を中心に配当します。
- （4）3年次から4年次にかけては、これまでに習得した知識技術を統合させ、リハビリテーションの専門職として必要な、態度、資質、行動力を育成するとともに、学内教育で臨床実践能力の基礎を養うため学外臨床実習を設けます。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

- （1）作業療法について積極的に学ぶ意欲があり、未知の分野への探究心に富んだ人
- （2）「なぜ?」、「どうして?」という疑問を持って、主体的に学ぶことができる人
- （3）豊かな感受性と思いやりの心を持ち、他人のつらさや喜びに共感できる人
- （4）自分の考えを伝え、他者の話をよく聞くことができ、協調しながら行動できる人

人間コミュニケーション学科／福祉心理学科3ポリシー

【ディプロマポリシー（学位授与方針）】

- （１）豊かな人間観をもち、一人ひとりの尊厳を高められるような関わりができる。
- （２）人と人とをつなぎ共に社会を作ることができる力量を身につけている。
- （３）広い視野で多角的に物事をとらえ、多様性を尊重する姿勢を身につけている。
- （４）自らの役割に責任感を持ち、自分らしさを磨き続ける姿勢を身につけている。
- （５）社会福祉学と心理学の基本的知識と技能を修得している。
- （６）コミュニケーション力を基盤とした確かな社会人基礎力を身につけている。

【カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）】

- （１）多様なキャリア形成を育むため、初年次から卒業まで一貫して少人数編成の演習を設けます。
- （２）自ら疑問を持ち問題を解決する能力を身に付けるため、PBL（Problem Based Learning）の科目を充実させます。
- （３）社会福祉学と心理学の基本を学び、人間コミュニケーション力を鍛える科目を設けます。
- （４）実践力を備えた専門職を育成するため、現場の視点に基づいた演習・実習科目を配置します。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

- （１）社会福祉学と心理学に興味や関心があり、人間コミュニケーション力を高めたい人
- （２）豊かな情緒と感性を持ち、人と自分自身に誠実な人
- （３）柔軟で主体的に学び、キャリアの可能性を探し求めたい人
- （４）地域社会で活躍したいという情熱にあふれている人

看護学科3ポリシー

【ディプロマポリシー（学位授与方針）】

- （１）自然や社会に対する豊かな知識と人間に対する深い理解を持ち、人の尊厳を守ることのできる高い倫理性を身につけている。
- （２）専門職業人として、確かな技術とコミュニケーション能力を持ち、地域の人々や保健、医療、福祉などの関係職種と協働して問題解決をはかろうとする能力を身につけている。
- （３）さまざまな状況にある人々の健康課題に対し、多様なアプローチを効果的に用いる専門的能力を身につけている。
- （４）社会における看護の役割を理解し、人々の健康と幸福の実現に向けて、関係者と協力することができる協調性を身につけている。
- （５）専門職業人として、生涯学び続ける主体性を身につけている。

【カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）】

- （１）４年間の教育を通し、生涯の社会生活やキャリア形成の基盤となる幅広い教養教育と看護専門職者としての知識・技術を育成する看護基礎教育に必要な教育課程を編成します。
- （２）修学に必要な知識と能力を確実に身につける主体性と自己学習力の涵養のため、初年次教育に力を入れます。
- （３）専門職業人として生命の尊厳と高い倫理性を持つ「豊かな人間力」を涵養するため、少人数制による演習・実習を重視し、看護実践に求められる態度教育を充実させます。
- （４）社会の変化に対応できる臨床能力を養うための専門基礎科目と専門科目をバランスよく配置します。

【アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

- （１）看護に関心があり、将来、保健・医療・福祉分野に貢献したいと考えている人
- （２）人間の健康や人々が暮らす地域や社会環境に興味を持っている人
- （３）新たな知識を探求しようとする学習意欲を持っている人
- （４）他者を思いやり、周りの人々と協調していく意欲のある人